

令和 4 年 3 月 17 日

令和 3 年度 仙台市公共事業再評価の結果と対応方針

仙台市長 郡 和子

令和 3 年度に再評価を実施した下記事業の再評価の結果と対応方針は、仙台市公共事業再評価検討委員会が作成した対応方針案を踏まえ、下記のとおりとする。

記

再評価の結果と対応方針

事業名	再評価結果	対応方針
元寺小路福室線外 1 線（五輪工区）街路事業	別紙 1 のとおり	事業継続
宮沢根白石線（南鍛冶町・舟丁工区）街路事業	別紙 2 のとおり	事業継続
南小泉茂庭線（宮沢橋工区）街路事業	別紙 3 のとおり	事業継続
国道 286 号（南赤石工区）道路事業	別紙 4 のとおり	事業継続※

※ 現場状況の変化等によって大幅な事業費の増加が見込まれる場合には、要綱第 2 条第 4 項に基づき再評価監視委員会の開催を検討する。その際には、ともに事業を進める宮城県と委員会の開催時期や方法について調整する。

令和3年度 再評価対象事業リスト (街路事業)

事業名 元寺小路福室線外1線 (五輪工区)

事業の目的・内容	事業の進捗状況				事業を巡る社会・地元情勢の変化	事業の状況及び今後の見通し	費用対効果に係る要因の変化の有無 費用対効果(B/C)	対応方針 (案)	備考					
	全体		23年度											
<p>本工区は、都市計画道路元寺小路福室線の一部区間で、本市中心部と東部地区を連絡するものであり、完成すると仙台西道路とも繋がり、物流をはじめ都市機能の向上が図れるとともに、仙台駅周辺の交通結節機能の向上と新たなまちづくりにも大きな弾みがつくと期待されている。</p> <p>平成29年6月に本路線宮城野橋工区が全線供用し、平成30年3月に元寺小路福室線(五輪工区)の一部区間(五輪一丁目～銀杏町 L=790m)が暫定4車線で供用したことで、東側は仙台東部道路から、西側は国道48号を経由して東北自動車道まで一本の道路として繋がったところであるが、未整備である銀杏町～萩野町区間について、JR貨物線との交差点がボトルネックとなっていることから、早期の整備を行う必要がある。</p> <p>【内容】 事業起終点： 宮城野区五輪1丁目80-1番 ～宮城野区銀杏町501番 延長・幅員： 元寺小路福室線 L=1,217m・W=40.0m (幅員構成:車3.25m*6 歩7.0m*2) 五輪連坊線 L= 133m・W=22.0m (幅員構成:車3.00m*2 歩4.5m*1, 歩6.5m*1)</p>	事業着手年度	H13	H23迄 事業費 (D)	63.4億円	<p>仙台駅東第二土地区画整理事業を実施中で(H25事業完了予定)、仙台駅東地区のまちづくりを進めている。</p> <p>また、仙台市地下鉄東西線(仮称)仙台駅の新設、東西駅前広場の機能強化、東西自由通路の整備など、「仙台駅大改造」と呼ぶにふさわしい取り組みを行うことにより、仙台駅周辺を含めた都心の交通環境が大きく変わっていく。</p> <p>平成15年度より用地買収に着手し、平成21年度より工事を行っているが、用地買収が完了し連続して整備が出来る箇所から工事を施工しているものの、本路線全ての工事が完了しないと整備効果があらわれないことから、地元からも早期完成が望まれている。</p>	<p>未買収地36件(共有通路1件、宅地35件)のうち、宅地5件については、説明・交渉を重ねた結果、平成23年度内に買収を行える予定である。共有通路1件、宅地1件については、相続等の問題があるものの、関係者により現在協議が進められている状況である。</p> <p>今後も関係地権者へ積極的に用地交渉を行い、丁寧な説明を心がけながら平成28年度完成を目標に事業を進めていく。</p>	<p>事業全体 B/C=3. 19 B=299. 1億円 C= 93. 7億円</p> <p>一年遅れた場合 B/C=3. 05 B=274. 7億円 C= 90. 0億円</p> <p>これから事業完了まで B/C=16. 52 B=299. 1億円 C= 18. 1億円</p>	事業継続	H23年度再評価実施					
	用地買収着手年度	H15	H23迄 用地費 (E)	60.6億円										
	工事着手年度	H21	H23迄 工事費 (F)	2.8億円										
	完了予定年度	H28												
	全体事業費(A)	82.1億円	全体進捗率(D/A)	77.2%										
	全体用地費(B)	70.3億円	用買進捗率(E/B)	86.2%										
	全体工事費(C)	11.8億円	工事進捗率(F/C)	23.7%										
	全体計画	L=1,350m W=40m (22m)	供用延長・整備率等	0 m 0.0%										
	全体(変更後)		28年度							<p>仙台駅東第二土地区画整理事業が平成27年度に完了し、仙台駅東地区のまちづくりは着実に進んでいる。</p> <p>また、仙台市地下鉄東西線が平成27年12月に開業し、仙台駅前広場の再整備や、仙台駅東西自由通路も完成するなど、仙台駅周辺を含む都心の交通環境が大きく変わっている。</p> <p>そのような中で、今年度末までに路線全長L=1,350mのうち、起点側約L=983m(I工区)を暫定供用する予定となっている。</p> <p>また、隣接する宮城野橋工区も整備が進んでおり、互いに供用することで相乗効果が期待できる。</p> <p>一方、終点側約L=367m(II工区)にあるJR貨物線交差点は、このままではボトルネックになる可能性が高いため早期にJRとの協議を終え、工事着手する必要がある。</p> <p>なお、地元住民の道路整備に対する期待は高く、一刻も早い完成が必要である。</p>	<p>起点側より順次事業を進めているが、終点側のJR貨物線との交差点に関しては、技術的な課題も多く、JR協議に時間を要している。</p> <p>今後は本年5月のJR貨物による岩切地区への貨物ターミナル駅移転に関する意思決定を受け、より具体的な協議を進めていきたい。</p>	<p>事業全体 B/C=1. 60 B=262. 8億円 C=164. 6億円</p> <p>一年遅れた場合 B/C=1. 52 B=249. 8億円 C=164. 6億円</p> <p>現時点まで B/C=0. 00 B= 0. 0億円 C=117. 8億円</p> <p>来年度から完了まで B/C=5. 61 B=262. 8億円 C= 46. 8億円</p>	事業継続	H28年度再評価実施
	事業着手年度	H13	H28迄 事業費 (D)	86.9億円										
	用地買収着手年度	H15	H28迄 用地費 (E)	68.2億円										
	工事着手年度	H21	H28迄 工事費 (F)	18.7億円										
	完了予定年度	R5												
	全体事業費(A)	140.2億円	全体進捗率(D/A)	62.0%										
	全体用地費(B)	73.4億円	用買進捗率(E/B)	92.9%										
	全体工事費(C)	66.8億円	工事進捗率(F/C)	28.0%										
	全体計画	L=1,350m W=40m (22m)	供用延長・整備率等	0 m 0.0%										
	全体(変更後)		R3年度		<p>平成27年度の仙台駅東第二土地区画整理事業の完了のち、隣接する宮城野橋工区が平成28年度に全線供用した。本工区においても、平成28年度に五輪連坊線が暫定供用し、平成29年度に起点側L=790m(I工区)が暫定4車線で開通したことにより、本市中心部と東部地区だけでなく、仙台西道路まで繋がったことで、本市の都市機能の向上とともに、交通結節機能が向上した。</p> <p>さらには、国道45号や清水小路多賀城線の渋滞緩和効果も期待されているが、未整備区間である終点側L=427m(II工区)の一部がボトルネックとなっていることにより、渋滞緩和効果も限定的であることから、早急に整備する必要がある。</p> <p>なお、地域住民の道路整備に対する関心や期待は高く、事業の早期完成が必要である。</p>	<p>道路詳細設計のほか、JR貨物線交差点構造物の詳細設計(土木・軌道)業務委託協定をJR東日本と締結し、設計を進めている。</p> <p>また、詳細設計を踏まえ、用地買収にも着手している。</p> <p>今後は、詳細設計を進めながら、具体的な施工方法等についてJR東日本やJR貨物等との協議も行うとともに、関係地権者へ積極的に用地交渉を行い、早期の事業完成を目指していく。</p>	<p>事業全体 B/C=1. 27 B=250. 0億円 C=196. 8億円</p> <p>一年遅れた場合 B/C=1. 26 B=248. 6億円 C=196. 7億円</p> <p>現時点まで B/C=0. 31 B= 46. 9億円 C=149. 1億円</p> <p>来年度から完了まで B/C=4. 26 B=203. 1億円 C= 47. 7億円</p>	事業継続						
	事業着手年度	H13	R2迄 事業費 (D)	90.6億円										
	用地買収着手年度	H15	R2迄 用地費 (E)	69.1億円										
工事着手年度	H21	R2迄 工事費 (F)	21.5億円											
完了予定年度	R14													
全体事業費(A)	151.9億円	全体進捗率(D/A)	59.6%											
全体用地費(B)	84.1億円	用買進捗率(E/B)	82.2%											
全体工事費(C)	67.8億円	工事進捗率(F/C)	31.7%											
全体計画	L=1,350m W=40m (22m)	供用延長・整備率等	923m 68.4%											

令和3年度 再評価対象事業リスト (街路事業)

事業名 宮沢根白石線(南鍛冶町・舟丁工区)街路事業

事業の目的・内容	事業の進捗状況				事業を巡る社会・地元情勢の変化	事業の状況及び今後の見通し	費用対効果に係る要因の変化の有無 費用対効果(B/C)	対応方針(案)	備考
	全体		H23年度						
<p>本路線は、若林区舟丁を起点とし一部富谷市を通過し泉区根白石字笹山に至る総延長約21.6kmの本市の南北を結ぶ骨格幹線道路である。</p> <p>本工区(若林区舟丁～連坊三丁目)の整備を行い、旧国道4号と接続することにより、市内南東部から仙台駅東口方面へのアクセス向上が図られ、東部地区の都市機能が一層高まるとともに、都心部の交通円滑化が見込まれる。</p> <p>また、本工区は隣接する宮沢橋工区と合わせ、公共交通を中心とした交通体系や災害時も含めた、人流・物流などの都市活動を支える道路ネットワークの一環として、整備を進められている。</p>	事業着手年度	H14	H23迄事業費(D)	82.7億円	<p>本事業は、平成14年度より用地買収に着手し整備を進めている。用地買収も約9割完了し、地域住民からも早期の整備を求められている。</p>	<p>用地買収については、現在までに約9割の取得が完了しており、平成26年度完了を目標に用地買収を進めている。</p> <p>工事については、平成21年度から本格的に着手し、現在は橋梁区間の工事を行っている。平成24年度からは、橋梁区間以外の道路工事も並行して行い、平成29年度の完成を目標に整備を行っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●事業全体 B/C=2.02 B=289.3億円 C=142.9億円 ●一年遅れた場合 B/C=1.95 B=276.3億円 C=142.0億円 ●現時点まで B/C=0 B=0億円 C=97.0億円 ●来年度から完了まで B/C=6.31 B=289.3億円 C=45.9億円 	事業継続	費用対効果の算定を国土交通省策定のマニュアルに基づき算出
	用地買収着手年度	H14	H23迄用地費(E)	69.3億円					
	工事着手年度	H16	H23迄工事費(F)	13.4億円					
	完了予定年度	H29							
	全体事業費(A)	113.5億円	全体進捗率(D/A)	72.9%					
	全体用地費(B)	81.5億円	用買進捗率(E/B)	85.0%					
	全体工事費(C)	32.0億円	工事進捗率(F/C)	41.9%					
	全体計画	延長790.26m 幅員30~42m	供用延長・整備率等	0.0m 0.0%					
	全体(変更後)		H28年度		<p>本事業は、平成28年に見直しされた「仙台市道路事業方針」において、交流・物流を支援し、地域経済の成長に資する幹線道路網の一つとして位置づけられている。平成14年度より用地買収に着手し整備を進めており、用地買収も残り3件となり、地域住民からも早期の整備を求められている。</p>	<p>【南鍛冶町工区】 用地買収については、残り3件となり、今年度中に契約できる見込みである。</p> <p>工事については、用地取得完了後、残る区間の橋梁工事並びに道路改良工事を行い、平成32年度の完成を目標に整備を行っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●事業全体 B/C=2.10 B=383.7億円 C=182.7億円 ●一年遅れた場合 B/C=2.01 B=366.4億円 C=182.6億円 ●現時点まで B/C=0 B=0億円 C=138.4億円 ●来年度から完了まで B/C=8.65 B=383.7億円 C=44.3億円 	事業継続	費用対効果の算定を国土交通省策定のマニュアルに基づき算出
	事業着手年度	H14	H28迄事業費(D)	100.6億円					
	用地買収着手年度	H14	H28迄用地費(E)	76.8億円					
	工事着手年度	H16	H28迄工事費(F)	23.8億円					
	完了予定年度	H32(R2)							
	全体事業費(A)	147.9億円	全体進捗率(D/A)	68.0%					
全体用地費(B)	105.2億円	用買進捗率(E/B)	73.0%						
全体工事費(C)	42.7億円	工事進捗率(F/C)	55.7%						
全体計画	延長1,105.26m 幅員30~42m	供用延長・整備率等	0.0m 0.0%						
全体(変更後)		R3年度		<p>本事業は、令和2年3月に路線の一部区間が無電柱化の指定路線となり、電線共同溝を整備することとなった。また本事業の完成供用開始に伴う影響範囲として、終点側から約466mの区間についても付加車線等の整備を行うため、事業区間の延伸を行った。</p> <p>これまでも地域住民から早期の整備を求められていたが、最近では工事の完成時期・供用開始時期関係の問い合わせが増えてきている。</p>	<p>【南鍛冶町工区】 用地買収については全て完了している。</p> <p>工事については令和4年度中の完成・供用開始に向けて、関連工事も含め事業箇所全域で工事中である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●事業全体 B/C=2.09 B=519.8億円 C=248.7億円 ●一年遅れた場合 B/C=2.01 B=499.8億円 C=248.7億円 ●現時点まで B/C=0 B=0億円 C=247.2億円 ●来年度から完了まで B/C=349.3 B=519.8億円 C=1.5億円 	事業継続	費用対効果の算定を国土交通省策定のマニュアルに基づき算出	
事業着手年度	H14	R3迄事業費(D)	172.8億円						
用地買収着手年度	H14	R3迄用地費(E)	113.4億円						
工事着手年度	H16	R3迄工事費(F)	59.3億円						
完了予定年度	R4								
全体事業費(A)	173.5億円	全体進捗率(D/A)	99.6%						
全体用地費(B)	113.5億円	用買進捗率(E/B)	99.9%						
全体工事費(C)	60.0億円	工事進捗率(F/C)	98.8%						
全体計画	延長1,571.12m 幅員30~42m	供用延長・整備率等	0.0m 0.0%						

令和3年度 再評価対象事業リスト (街路事業)

事業名 南小泉茂庭線(宮沢橋工区)街路事業

事業の目的・内容	事業の進捗状況				事業を巡る社会・地元情勢の変化	事業の状況及び今後の見通し	費用対効果に係る要因の変化の有無 費用対効果 (B/C)	対応方針 (案)	備考
	事業着手年度	平成29年度	R3迄事業費 (D)	22.8億円					
<p>(都)南小泉茂庭線は、仙台市若林区遠見塚を起点とし、広瀬川を横断し長町、富沢などの仙台市西部の拠点を經由し、太白区坪沼に至る延長約15.44kmの都市計画道路であり、本市の骨格幹線道路網を形成する主要幹線道路として位置づけられている路線である。</p> <p>隣接工区である南鍛冶町・舟丁工区と合わせ宮沢橋工区の整備により、仙台市西部と国道45号までが接続され、公共交通の利用促進及び都心部の交通の円滑化が図られる見込みである。</p> <p>また、これらの工区は、公共交通を中心とした交通体系や災害時も含めた、人流・物流などの都市活動を支える道路ネットワークの一環として、整備を進められている。</p>	用地買収着手年度	令和元年度	R3迄用地費 (E)	10.億円	<p>本工区の隣接する宮沢根白石線(南鍛冶町・舟丁工区)は令和4年度の供用開始を目指しており、両工区の事業効果発現のためにも、宮沢橋工区を早期に供用開始する必要がある。現宮沢橋では慢性的な渋滞が発生しており、地元からは早期の整備を求められている。</p>	<p>現在、用地買収と橋梁工事を並行して進めている。令和4年度中に橋梁下部工は完成する見込みである。その後、橋梁上部工工事や橋梁前後の取付道路工事をを行い、令和6年度末の供用開始を目指し、事業を進めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●事業全体 B/C=1.54 B=122.3億円 C=79.2億円 ●一年遅れた場合 B/C=1.50 B=117.6億円 C=78.5億円 ●現時点まで B/C=0 B=0億円 C=25.6億円 ●来年度から完了まで B/C=2.03 B=122.3億円 C=53.6億円 	事業継続	費用対効果の算定を国土交通省策定のマニュアルに基づき算出
	工事着手年度	令和元年度	R3迄工事費 (F)	12.8億円					
	完了予定年度	令和10年度							
	全体事業費 (A)	82.7億円	全体進捗率 (D/A)	27.6%					
	全体用地費 (B)	12.4億円	用買進捗率 (E/B)	80.6%					
	全体工事費 (C)	70.3億円	工事進捗率 (F/C)	18.2%					
	全体計画 延長 L= 300 m 幅員 W= 26~36 m		供用延長・整備率等	0.0m 0.0%					

令和3年度 再評価対象事業リスト (道路事業)

事業名 国道286号(南赤石工区)道路事業

事業の目的・内容	事業の進捗状況				事業を巡る社会・地元情勢の変化	事業の状況及び今後の見通し	費用対効果に係る要因の変化の有無 費用対効果 (B/C)	対応方針 (案)	備考
	事業着手年度	H28	R3迄 事業費 (D)	8.3億円					
<p>一般国道286号は、仙台市を起点とし、山形県山形市に至る延長約65kmの幹線道路である。東北縦貫自動車道「仙台南IC」及び山形自動車道「宮城川崎IC」にアクセスするとともに、県庁所在地どうしを直接接続する、第1次緊急輸送道路にも位置付けされる重要な路線である。</p> <p>当該工区は、延長約2.7kmの道路であり、幅員狭小・線形不良等を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的としたバイパスの建設を行うものであり、仙台市と宮城県が協議調整し、平成28年度より事業を進めている。</p>	用地買収 着手年度	H30	R3迄 用地費 (E)	2.1億円	<p>笹谷トンネルが昭和56年に開通したことに伴い、国道286号の交通量が激増し、特に東北縦貫自動車道仙台南インター以西の混雑は著しかったことから、国道286号のバイパス建設(茂庭地内、碁石地内、川崎地内)が緊要となっていた。</p> <p>昭和61年に川崎、碁石の両工区が、昭和62年には小野工区がそれぞれ開通した。また、平成7年には茂庭工区が全面開通し、赤石工区も平成8年に2車線で供用開始され、残るは当該工区だけとなっている。当該工区は、急カーブや急勾配が多く、大雪時に通行止めになるなど走行性・安全性、防災面等の課題を多く有しており、早期の道路整備が強く望まれている。</p> <p>当該工区については仙台市が、川崎町の区域内(支倉工区)については宮城県が建設工事を実施する。(仙台市1.4km、宮城県1.3km)</p>	<p>平成28年度より測量、調査、設計、土地境界の確定を行い、平成31年度より用地取得に着手している。今後は一部の用地の境界確定および用地取得を推進するとともに、文化財調査も併せて実施する。</p> <p>工事については、1号橋梁施工に必要な工事用道路の整備を進めている状況であり、令和11年度の完成を目標に整備を行っていく。</p>	<p>・事業全体のB/C B=80.3億円 C=72.4億円 B/C=1.11</p> <p>・一年遅れた場合のB/C B=77.3億円 C=72.3億円 B/C=1.07</p> <p>・現時点までのB/C B=0.0億円 C=10.9億円 B/C=0.00</p> <p>・来年度から完了までのB/C B=80.3億円 C=61.5億円 B/C=1.31</p>	事業継続	費用対効果の算定を国土交通省策定のマニュアルに基づき算出
	工事着手 年度		R3迄 工事費 (F)	6.2億円					
	完了予定 年度	R11							
	全体事業費 (A)	81.1億円	全体進捗率 (D/A)	10.2%					
	全体用地費 (B)	6.0億円	用買進捗率 (E/B)	35.0%					
	全体工事費 (C)	75.1億円	工事進捗率 (F/C)	8.3%					
	全体計画	延長2700m 幅員 12m	供用延長・ 整備率等	0.0m 0.0%					